



# しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

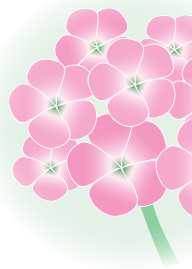
- 清田・福江校区クリーンアップ隊の誕生秘話……2ページ
- たねの簡単＆おもしろ「産直レック」……3ページ
- 地域の話（田原市地域「ミニミニ連合会」……4ページ
- 市民活動を応援するページ……5ページ

自分たちのまちは、自分たちできれいにしまいか！

## 清田・福江校区クリーンアップ隊の誕生秘話

市民発!

平成24年5月から活動を始めた清田・福江校区クリーンアップ隊の皆さん。このクリーンアップ隊が誕生するきっかけとなったのは、一人の方の地道な清掃活動からでした。今回は、10年以上、清掃活動に取り組んでいる渡会一昭さん（福江町）と、クリーンアップ隊長の川崎政夫さん（福江町）にお話を伺いました。



### ヨーロッパの美しい街並みを目指して

渡会一昭さんが沿道の清掃や花壇の手入れを始めたのは、およそ10年ほど前からだそうです。ヨーロッパを訪れた際に、ごみ一つ落ちていない美しい街並みや咲き誇るゼラニウムの花を見て、田原市でも再現しようと思ったのがきっかけでした。

9年前、経営する店舗を移転させたときに、観光客をおもてなしたいと思い、国道沿いに花壇を作りました。「おもてなしの原点は、まちをきれいにすること。きれいな花壇に、ごみを捨てる人はいません」と話す渡会さん。自宅の温室で増やした赤色やピンク色などの花が咲くゼラニウムを植え、花壇を彩りました。ゼラニウムは育てやすく、夏の暑さにも冬の寒さにも強いいため、3月から12月ごろまで花を咲かせるのだそうです。

### 子どもたちのためにも安全に清掃を

「道路の清掃で気を付けていることは、通学路にもなっているので、除草剤を使わずに安全にきれいに保つことです」と渡会さんは話します。雑草の種が芽を出す前の3月ごろに、道路にたまった土砂を取り除くことがポイントなのだそうです。「最近では、空き缶を捨ってくれる人が増えてきたのを実感していますよ」と笑顔になった渡会さんが印象的でした。



●清掃活動をするクリーンアップ隊の皆さん



●ゼラニウムの鉢を持つ渡会さん